

授業科目 社会福祉援助技術各論Ⅱ

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	社会
河野 聖夫		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 相談援助やソーシャルワークの実践過程を、ジェネリックな視点から理解することによって、どのように適用するかを考察する。テキストや事例を通じて、相談援助の実践過程について学習する。特に社会福祉における相談援助実践の展開方法を、実践事例による考察を図りながら習得していく。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1 相談援助の展開過程で用いられる専門技術についてを理解し習得する。 2 相談援助の実践過程を理解する。 3 ソーシャルワークの実践過程における展開方法を理解し習得する。 4 相談援助における記録の技術と活用方法を理解し習得する。					
回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	オリエンテーション			相談援助各論1の振り返り	
2	ソーシャルワークの実践			第5章 第6章の概観と 配布資料	
3	ソーシャルワークの実践過程と展開1			第5章相談援助の展開の流れ	
4	ソーシャルワークの実践過程と展開2			第5章ケース発見	
5	ソーシャルワークの実践過程と展開3			第5章受理面接	
6	ソーシャルワークの実践過程と展開4			第5章問題把握からニーズ確定まで 第8章契約の技術	
7	ソーシャルワークの実践過程と展開5			第5章アセスメント 第9章アセスメントの技術	
8	ソーシャルワークの実践過程と展開6			第5章支援計画 支援実施 第10章介入の技術	
9	ソーシャルワークの実践過程と展開7			第6章 第11章	
10	ソーシャルワークの実践過程と展開8			第6章 第11章	
11	ソーシャルワーク実践の発展的な取り組み			第6章 第14章	
12	アウトリーチの実践			第7章	
13	ソーシャルワークにおける記録の活用			第13章相談援助のための記録の技術	
14	ソーシャルワーク実践過程のまとめ			考察 振り返り	
15	全体のまとめ			総括 振り返り	
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		7 相談援助の理論と方法Ⅰ		社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規 2,600円＋税・新年度刊行版
参考書		新 社会福祉援助の共通基盤 第2版 上・下		日本社会福祉士会編集	中央法規 2009・2,400円＋税
その他の資料		適宜配布する			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
定期試験 授業内課題への取り組み状況			予習と復習		